

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	2ヶ月に1度開催している運営推進会議において、おたよりなどで開催日時のお知らせをしているが、案内通知だけでは、参加率が上がらない。毎回、同じご家族様の参加のため、参加についてをアプローチし、参加率のアップを図る必要がある。	運営推進会議にご家族様の参加人数を増やす。	ご面会時やお電話にて運営推進会議の参加についてお願いする。	3ヶ月
2	6	施設周辺は道路に囲まれており、交通量も多く、コンビニエンスストアも隣接していることから車などの出入りも多く、安全性を優先し、法人の方針としてホールの出入り口は施錠することとしている。入居者様並びにご家族様には入居検討段階の館内案内や契約時にご説明し、同意を頂いた上で施錠している。	安全性を重視する点から、施錠は継続して実施する。入居者様に閉塞感を感じさせないよう外出の機会を増やしたりボランティアの来訪時は開錠しているため、ボランティアの受け入れを増やす。	地域主催の催し物などに積極的に参加していくと共にボランティアの受け入れの回数を増やしていく。	3ヶ月
3	35	防災訓練は、6月・10月の実施に加え3ヶ月に1回事業計画にて避難誘導の自主訓練を計画し実施している。交替勤務であるため訓練に参加できる人数は限られており不測の事態に職員はスムーズに避難誘導ができない可能性がある。	いざという時に慌てずに安全でスムーズな誘導ができる。	訓練にできる限り全職員が参加できるよう業務を工夫し、定期的に火災通報装置の取扱いについてのレクチャーを全職員へ実施していく。	3ヶ月
4	40	季節の料理やおやつについて考案し積極的に取り入れている。盛付けの際は、食事形態・内容・形・色彩によって食器を選定しているが、お食事をより楽しんで頂くためには更に工夫が必要である。	入居者様にとって食事は楽しみであるため、より楽しみながらまた、季節感を味わって頂くための工夫。入居者様に提供している食事の味付けや分量が適当か否か職員も知るためにキッチン会議などで試食し検討していく。	見た目でも楽しんで頂けるようランチオンマットに一工夫加え、テーブルも季節の装飾をする。月に1度のキッチン会議にて入居者様と同じ食事を摂り検討する。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。